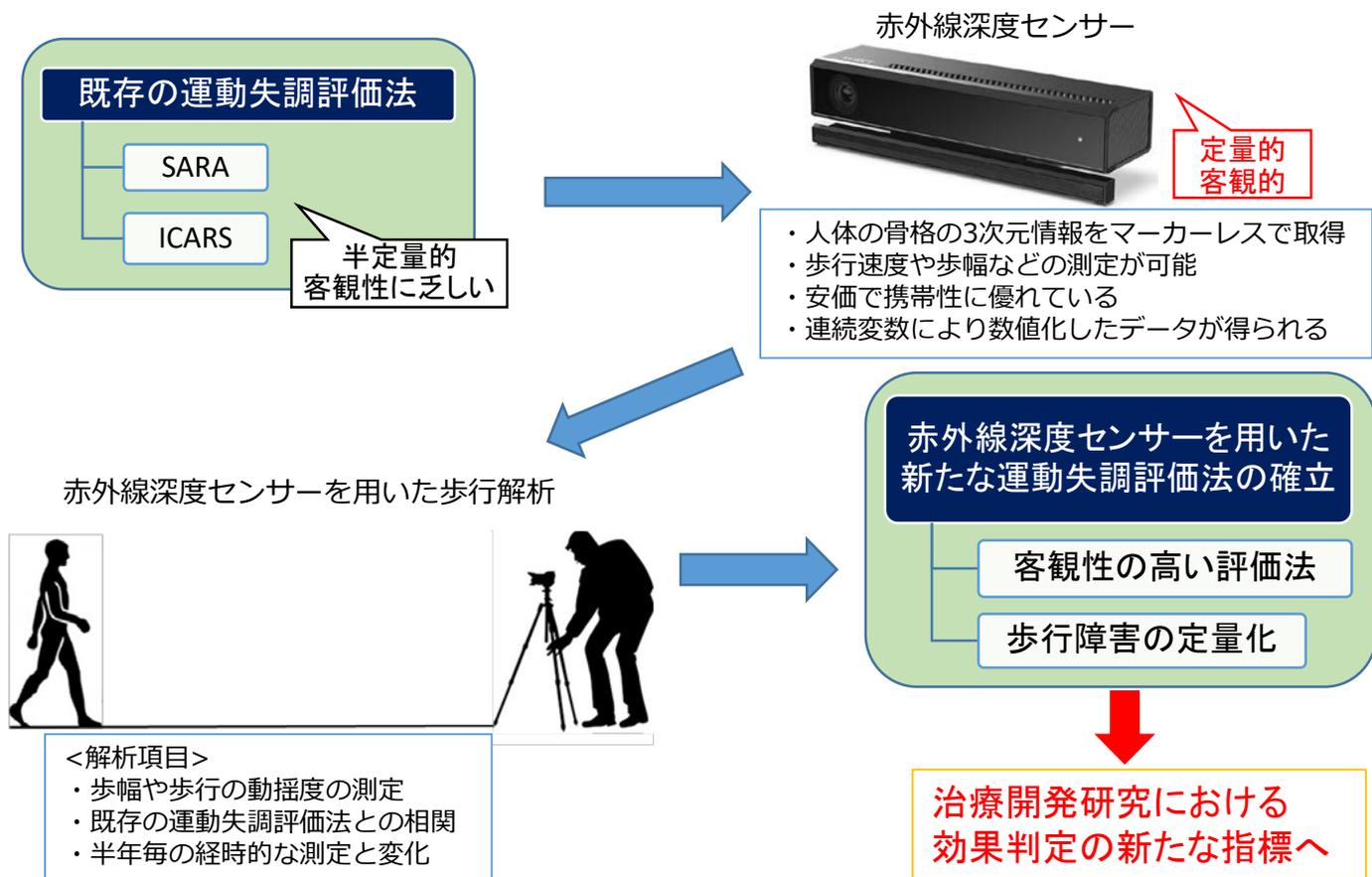


赤外線深度センサーを用いた定量的運動失調評価法の検討

研究分担者：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）



【目的】

赤外線深度センサーを備えた歩行解析装置を用いて、運動失調を客観的かつ定量的に評価する方法を確立することを目的とする。

【成果】

- ・本研究にかかる施設内研究倫理申請を行い承認された。
- ・対象者の登録と本装置による測定を開始した。
- ・運動失調症の重症度を反映する、評価指標についての検討を行った。
- ・運動失調症による歩行障害の重症度に関して、数値化・定量化に向けて期待される結果が得られた。